

公共施設再配置計画推進会議ワーキンググループ開催スケジュール案

平成23年11月15日 公共施設再配置推進課作成

WG	平成23年度										平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月					3月
施設保全調整WG (一元管理関係)			← アンケートの実施 (施設管理の現状把握・課題抽出) →			第1回 課題抽出 管理体制 方針検討		第2回 管理体制 方法検討			第3回 管理体制 方法検討	前期: 施設の現状調査 後期: 施設台帳作成等	← 一元管理(マネジメント)の推進と実施 施設保全管理システムの構築 →		
施設保全調整WG (長寿命化関係)						課題抽出 管理体制 方針検討		管理体制 方針検討			管理体制 方針検討	← 劣化診断等による予防保全への転換など長寿命化の検討と実施 計画的な維持補修の検討と実施 →			

<一元管理(マネジメント)体制の検討>

アンケートの実施(8月~10月)

- ①施設管理担当課へ施設管理状況、台帳の有無、デジタル化の状況などについての現状を調査
- ②施設の管理方法、修繕・工事等関連予算の事務処理方法など、現在の施設管理等に関する問題点や課題の抽出

第1回(11月) 『現状管理体制の把握・課題抽出・対策検討』

- ①各課へのアンケート結果による施設管理状況等の現状把握
- ②一元管理(マネジメント)を行う上での問題点、課題の抽出及び対策方法の検討

第2回(1月) 『管理体制、方法の検討』

- ①一元管理(マネジメント)の方法の検討、一元管理後の事務処理(予定工事の選別→予算取り→工事発注→工事監理など)、方法等の検討
- ②施設の状況調査方法の検討(対象施設の範囲の検討・調査項目、方法の検討など)、施設台帳の内容や利用方法等の検討

第3回(3月) 『管理体制、方法の検討』

- ①一元管理(マネジメント)の方法の検討、一元管理後の事務処理(予定工事の選別→予算取り→工事発注→工事監理など)、方法等の検討
- ②施設の状況調査方法の検討(対象施設の範囲の検討・調査項目、方法の検討など)、施設台帳の内容や利用方法等の検討

**年度目標:【施設情報の把握】施設概要、修繕・工事履歴、点検履歴などの情報の収集と整理**

H24年度 前期 『現状調査の実施』

- ①施設の現状調査の対象、内容などの抽出
- ②施設台帳作成のための施設現状の把握(施設概要調査、施設図面の抽出、工事履歴の調査、施設現状(内、外観目視)調査など)
  - \* 施設の現状把握方法: 職員など(建築、電気職など)による「現状調査(内、外観目視調査)」

H24年度 後期 『施設台帳の作成と一元管理(マネジメント)体制の確立の検討』

- ①市有建築物の施設台帳を作成し、施設の状況把握と一元管理を目指す。

H25年度~ 『一元管理(マネジメント)体制の推進と実施』

- ①H24年度に作成する施設台帳は、台帳による施設の状況を把握と管理体制の一元化を目的としているが、より実効性のある一元管理(マネジメント)体制とするため、施設保管理システム等を構築し、財源の確保も含めた一元管理(マネジメント)体制の実施を目指す。
- ②施設の劣化状況を踏まえた予防保全による施設の長寿命化体制の確立に役立つ施設管理の充実を目指す。

<長寿命化 関係>

アンケートの実施(8月～10月)

- ①施設管理担当課へ施設管理状況、自主点検や定期点検、法定点検の状況などについて現状を調査
- ②施設の管理方法、修繕・工事等関連予算の事務処理方法など、現在の施設管理等に関する問題点や課題の抽出

第1回(11月) 『現状管理体制の把握・課題抽出・対策検討』

- ①各課へのアンケート結果による施設管理状況や長寿命化(計画的な維持管理)体制の現状把握
- ②長寿命化(計画的な維持管理)体制への課題抽出及び対策方法の検討

第2回(1月) 『方針の検討』

- ①長寿命化(計画的な維持管理)体制への課題整理及び対策方針の検討
  - \* 自主点検、定期点検、法定点検の実施体制の検討
  - \* 長寿命化に関する「指針」や「方針」の作成の検討

第3回(3月) 『方針の検討』

- ①長寿命化(計画的な維持管理)体制への課題整理及び対策方針の検討
  - \* 自主点検、定期点検、法定点検の実施体制の検討
  - \* 長寿命化に関する「指針」や「方針」の作成の検討

**年度目標:【定期的な自主点検体制の推進】**

**実施方法、項目などの方針確立、「チェックリスト」「マニュアル」(素案)の作成**

**【法定点検実施体制の推進】**

**対象建築物の抽出と整理、効率的な実施方法の検討**

H24年度～H27年度(前期実行プラン期間内)

- ①自主点検、定期点検、法定点検の実施体制の構築
- ②長寿命化に関する「指針」や「方針」の作成
- ③長寿命化を検討する対象施設、設備、項目の抽出と整理
- ④長寿命化対応施設の劣化診断の実施
- ⑤建築物については、「時間計画保全施設」「事後保全施設」「状態監視保全施設」かの分類整理と耐震性の状況把握と整理
- ⑥衛生設備機器や電気設備などについては、「時間計画保全設備」「事後保全設備」「状態監視保全設備」かの分類整理
- ⑦施設台帳への記載事項等の検討及び利用方法の検討
- ⑧施設管理保全システムとの融合による「長寿命化対策も含めた、実効性のある施設の一元管理」体制の構築を検討

H28年度～(後期実行プラン～)

- ①施設管理保全システムによる「実効性のある施設の一元管理」体制の推進と実施